令和６年度第２回庄内町地域包括支援センター運営協議会　会議録

開催日時：令和７年２月 17 日（月）午後１：30～２：50
場　　所：庄内町保健センター　検診室
出席委員：佐藤一彦（サービス利用者代表）、斉藤眞貴子（訪問型サービス事業所代表）
髙橋未央（通所サービス事業所代表）、門脇俊宏（居宅介護支援事業所代表）
船見芳弘（居宅介護支援事業所代表）、森田義宏（酒田地区医師会代表）
大谷明子（民生委員・児童委員代表）、佐藤幸基（社会福祉協議会代表）
田澤縁・鈴木和智（識見を有する者）
欠席委員：金子絵美（通所型サービス事業所代表）、齊藤学（鶴岡歯科医師会代表）
包括職員：包括課長　岡部美奈子、包括係長　三浦舞
事 務 局：保健福祉課長　齋藤稔、保健福祉課長補佐兼福祉係長　齋藤佳子
主査兼介護保険係長　丸山昭宏、主査兼高齢者支援係長　阿良佳代子
高齢者支援係主任　高橋正和・日向唯

１　開会　　保健福祉課長
※以下協議・報告の件名以外の発言については「地域包括支援センター」を「センター」という。

２　あいさつ　　会長　鈴木　和智
2025 年に入った。町を挙げて元気な高齢者を増やしていかなければならない。今現在の課題になるかと思うので、皆様より意見をいただければと思う。どうぞよろしくお願いします。。

３　報告及び協議　　進行：鈴木会長
(1)庄内町地域包括支援センター運営方針（令和６年度～令和８年度）の改訂について
（説明　資料１：高齢者支援係長）
会　　長：文言を整理した改訂内容であったが、協議なしでよいか。
委　　員：異議なし
(2)庄内町地域包括支援センター評価について　（説明　資料２：高齢者支援係長）
会　　長：質問意見はないか。
委　　員：センターからは民生委員児童委員協議会への出席や、コロナ禍にあって地域との関係が薄れていたが、センターから地域に密着した方向で進めていただいたことに感謝している。今後も民生委員とのつながりを連携強化していただきたい。
会　　長：今後とも地域に密着したつながりを大切にして事業実施していいただきたい。町の方針の理解の評価について、センターの評点２に対し町の評点が３とした理由について説明があったが、町の計画や法律を基本として業務を行うものであるため、町評点は２としてもよかったのではないか。次年度は再考してほしい。町の方針の理解について、「上位法を確認しながら業務を行った」ことを評価し、センター評価を上回った評価としたとの説明があったが、法律を確認しつつ業務を遂行するものであるため、町の評価は２でよいのではないかと思うので、次年度の評価の際は熟考してください。他に意見はないか。この評価表は 12 月末時点の評価になるので年度終了後最終評価となることでよろしいか。
事 務 協：はい

⑶令和７年度庄内町地域包括支援センター活動計画（案）について（説明　資料３：高齢者支援係長）

委　　員：「地域資源マップ」は大変いい資料だと思う。全世帯へ配布する等考えているのか。

事 務 局：全世帯への配布は考えていないが、広く配布し活用していただけるよう努めたい。

⑷今後の地域包括支援センターの体制について　　（説明　当日配布資料 ４：高齢者支援係長）

会　　長：意見はないか。特に意見はないようなので地域包括支援センター運営協議会として承知した。

⑸・地域密着型サービス事業所等の指定更新について　　（説明　当日配布資料 ５：介護保険係長）

委　　員：全員承認

・介護予防支援事業及び介護予防マネジメント業務の委託の追加について

（説明　当日配布資料６：センター課長）

委　　員：全員承認

⑹その他

委　　員：高齢化率が上がる中、総合事業への負担が多くなってきた。庄内町は酒田市や鶴岡市へのアクセスも良い地域でもあるので、今後の方向性があれば教えてほしい。

事 務 局：町に資源はない。総合事業の改正があり、従前相当サービスは同じだが、サービス活動・Ａとサービス活動・Ｂについて一緒に考えていかなければならないと考えている。要綱で規定しているサービスコードを見直す必要がある。

委　　員：工夫してほしい。それから、地域資源マップについて親しみやすいようにサブタイトルをつけてはどうか。

事 務 局：サブタイトルをつけ、今後は発行していく。

会　　長：総合事業から卒業する人や卒業した人はいるか。庄内余目病院健康推進センターに通っている人の状況はどうか。

委　　員：介護認定を受けている人や90歳代の人もいらっしゃる。70～75歳の方はまだ働いているおり、担い手となっている現状。

会　　長：そのような方々からは、ぜひサービスを利用せず支い手側に回ってもらいたい。

委　　員：利用者代表として発言させてもらう。昨年12月から３回転倒した。88歳となり危ない年齢になったと感じており、転倒予防に気を付けている。玄関先に手すり、風呂場に椅子を設置している。サービスを受ける面で助けられている。身体面では、週１回訪問リハを受けており体力作りに助けられている。

会　　長：自立の維持と介護保険を適正に利用されており素晴らしいと思う。元気な時から心構えが大事になると思う。

４　その他

⑴令和７年度保健福祉事業について　　（資料７　説明：保健福祉課職員）

保健福祉課長：現委員の皆様の任期が令和７年３月31日までとなっている。引き続き委員を委嘱する方もいらっしゃるのでよろしくお願いしたい。

５　閉会